

アグリ筑西

2018 8月号

いよいよ夏本番です。今年の夏は平年より暑くなることが予想されています。こまめに水分、塩分を補給し熱中症を防ぎましょう。

発行 県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！→

⚠ 営農情報～園芸作物の夏季高温対策について～

野菜

- (1)かん水は、生育状態等を十分考慮し、早朝・夕方に実施しましょう。施設内でのかん水は、湿度が高くなりやすいため、夜間や曇雨天の日中には、通風するなどして湿度を下げましょう。また、地温の上昇抑制や土壌水分保持のため、地温抑制マルチや敷わら等を活用すると効果的です。
- (2)園芸用施設は、出入口・側面を開放するとともに、作物の特性に応じた、遮光資材等を使用し、施設内の温度上昇を抑制しましょう。循環扇は、局所的な高温空気の滞留を防ぎ、ハウス内温度の均一化が図られ、作業快適性の向上も期待できます。
- (3)風通しを良くするために、こまめな除草や側枝、弱小枝及び下葉を除去しましょう。
- (4)育苗箱は、コンテナやブロックでかさ上げし、風通しを良くしましょう。

果樹

- (1)敷きわらや敷草等により、土壌水分の蒸発を極力抑制しつつ、適宜かん水を実施しましょう。
- (2)収穫時期が遅れ、過熟にならないように適期収穫に努めましょう。
- (3)ハダニ類の発生動向に十分注意し、適期防除に努めましょう。

花き

- (1)切り花については、朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温での長時間放置を避けましょう。劣化を防ぐために前処理剤を使用すると、品質の維持に効果的です。
- (2)施設栽培では、出入口・側面を開放し、作物の特性に応じた、遮光資材等を使用しましょう。細霧冷房装置等を活用して適切な温度・湿度管理に努めましょう。

各品目における高温対策について詳しく知りたい方は、当普及センターまでお問い合わせください。



平成30年度農業女子会がスタート！



6月26日、筑西地域農業女子会第1回講座を開催し、管内の若手女性農業者4名が参加しました。今回の講座では、土浦市の(株)「精工」において農産物の包装資材について学びました。

まず講師から、同社は鮮度保持効果や安全性を重視した包装資材を中心に製造しており、人手不足や環境問題を背景として、こうした資材が求められていることが説明されました。

続いて、ショールーム見学を行い、野菜や果物等それぞれの特性や用途に合わせて包装資材を選択する活用例を学びました。受講者は、自身の農産物への活用へのイメージを膨らませ、今後の販売展開の参考になった様子でした。また、今回の講座では、管内の先輩女性農業者として筑西地域女性農業士3名が参加してくれました。一緒に学び情報交換することでお互い良い刺激となりました。

今年度の農業女子会は年間5回の講座を計画しています。興味がある方は、ぜひ当普及センター(担当:佐藤)までご連絡ください。



ショールーム見学の様子

農業学園第2回講座(種苗会社研究農場視察講座)を開講しました！！

6月28日、農業学園第2回講座を開催し、県西地域の受講者29名が参加しました。今回の講座は、当普及センター管内に加え、結城、坂東両普及センター管内の受講者も参加しました。



トマト品種展示見学の様子

講座では、河内町にあるタキイ種苗(株)茨城研究農場での夏季研修会に参加しました。室内講習や農業関連資材の展示、トマトやネギ等の品種展示等盛りだくさんの内容でした。受講者は、各品目のブリーダー※や資材メーカーの担当者と話すことで、日頃の農業経営における疑問や悩みを解決していました。(※新しい品種を開発する研究者)

受講者からは、「今後の品種選定を考える上で大変勉強になった。」「ブリーダーの方に頂いたアドバイスを参考に、自分の栽培を見直したい。」といった声がかれ、今後の農業経営へのヒントが得られた様子でした。また、研修中や道中のバスの中でも受講者同士の交流が深まった様子で、非常に有意義な講座となりました。

当普及センターでは、引き続き、受講者の経営に役立つ講座を開催していきます。



新任・退任農業三士のご紹介

茨城県では、地域農業の振興や担い手育成に活躍する地域のリーダー農業者を農業経営士、女性農業士、青年農業士として県知事が認定しています。

7月11日に県総合福祉会館において、認定式並びに退任式が開催されました。当普及センター管内からは、農業経営士2名、女性農業士2名、青年農業士3名が新たに認定されました。また、長年にわたり活動頂いた農業経営士1名、女性農業士1名、青年農業士3名が、任期終了により退任されました。

<新規認定者>

| 【農業経営士】 | | 【女性農業士】 | | 【青年農業士】 | | |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| | | | | | | |
| 谷中英男氏 (筑西市落合) 普通作、露地野菜 | 菱沼良之氏 (桜川市富谷) 普通作 | 長須かおり氏 (筑西市徳持) 施設野菜、普通作 | 藤澤希実子氏 (筑西市松原) 果樹 | 小島康秀氏 (筑西市宮後) 普通作 | 飯山基徳氏 (桜川市真壁町下谷貝) 施設野菜、普通作 | 大和田直輝氏 (桜川市真壁町上谷貝) 施設野菜、普通作 |

<退任者>

【農業経営士】早瀬英昭氏、【女性農業士】本橋ゆう子氏、【青年農業士】水越康博氏、須藤紀明氏、中里忠道氏

⚠️ トマトコナジラミ発生状況速報！

黄色粘着板片面1枚あたりのコナジラミ捕獲量(頭)

当普及センターでは、トマト黄化葉巻病・黄化病への注意喚起を目的に、これらの病気を媒介するコナジラミ類の発生モニタリング調査(毎週1回実施)を行っています。この調査はトマトの栽培が多く、発病が問題となる筑西市内の5カ所で行っています。7月17日現在、調査地区の全カ所において増加傾向にありますので、注意してください。

| 設置地区 (筑西市内) | 設置期間 | |
|----------------|---------|---------------|
| | 7/2~7/9 | 7/9~7/17(前週比) |
| 桑山地区堀之内 | 49 | 88(増) |
| 桑山地区十里 | 181 | 353(増) |
| 桑山地区桑山 | 21 | 44(増) |
| 柳 | 6 | 11(増) |
| 小栗 | 0 | 3(増) |

普及員のひとりごと ~津坂 早織~

この4月に茨城県に入庁し、筑西普及センターに配属となりました。主に野菜を担当させていただいています。筑波山をのぞむ広大な農地と比較的温暖な気候、都市へのアクセスの良さなど、筑西地域の魅力を感じています。まだまだ勉強不足ではありますが、スピード感を持ち、農家の方へ少しでも有益な情報を提供できるよう頑張りたいと思います。

編集後記

農業学園第2回講座には、私も参加しました。タキイ種苗の研修会は盛りだくさんの内容で、私自身も大変勉強になりました。今瀬